

10. 5文型

<文型の3つの箱>

文章は大きく状態と動作の二つに分けることができます。例として「は昨日メグの家を訪れた。」は動作を表します。これは英文でも同じです。Ken is tall.は状態を表します。つまり、必ず be 動詞と一般動詞を使い分けるのです。

高校の英語に入る前のブリッジプリントです。中学で学習した文法の項目を、やさしい解説でしっかりとおさえることができます。また、理解を定着させるための練習問題もあります。(下記)

これを図にして描くと、このようになります。



だから状態を表すのは**主語 (S) + be 動詞 (V) + 補語 (C)**つまり**(SVC)**の文型となります。補語は主語の説明と考えましょう。状態を表すときは、動詞 (V) は基本的にいつも be 動詞と覚えておきましょう。ただし、get, seem, sound, keep などこの文型で使われます。

*****これだけは押さえておきたい*****

1 次の各文の () の中に入る最も適当な語を書きなさい。

1. 祖母が私にこの辞書を買ってくれました。

My grandmother () () () ().

2. 治虫(Osamu) は大変創造的な人物のように見えます。

Osamu () so creative.

3. 彼女は彼に英語を教えた。

She () English () him.

2 次の各組の英文がほぼ同じ意味になるように()内に適当な語を書きなさい。

1. The doctor will give her a good idea.

The doctor will give an idea () ().

ブリッジプリントの練習問題。

2. She showed him her treasure.

She showed () () () ().

3. Many people became happy because her presentation was great.

Her great presentation () many people happy.

関連ブリッジプリント